

Universal Frame



スパイダー・システム ユニバーサルフレーム

運動に障害のある子どもたちの 環境支援機器

運動に障害のある子どもたちは自分の身体を支え、姿勢を安定させることが苦手です。その際、自身の重さを制御できないことが最大の障壁になります。子どもたちは筋緊張の亢進や低下、筋のアンバランスといった内在的な身体状況を抱えながら、日々姿勢を保つために1Gという環境下で何とか折り合いをつけようと努力しています。

例えば異常発達と呼ばれる定型的な動きも、その様な重力環境下での努力の結果、誤って身につけた本人なりの方法（適応行動）であるといっても過言ではありません。

子どもたちの困難さを支援するため Norman Lozinski によって SPIDER は開発されました。

SPIDER は、身体から外に向かって張られたゴム紐が蜘蛛の巣のように見えるところからついた名前です。その構造は身体に装着する留め具付きベルトと弾力性の異なるゴム紐、それを固定するための支柱または枠から成り立っています。

SPIDER を用いることで、姿勢が安定しやすくなり恐怖感は少なくなります。そのため身体を硬くすることが減り、身体を楽に動かすことが可能になります。これは運動発達の中で重要な役割を果たす“動き”の多様性や効率的な運動を選択することにも繋がります。また自ら動くことの楽しさは自己の有能性と自信に繋がり、心の発達にも影響を及ぼします。

『自由に身体を動かしてみたい』という当たり前のことを実現するためにユニバーサルフレームは最適な支援機器です。

THERASUIT METHOD® 認定セラピスト
びわこ学園医療福祉センター草津 高塩純一



スパイダーで何して遊ぶ？

Wii？

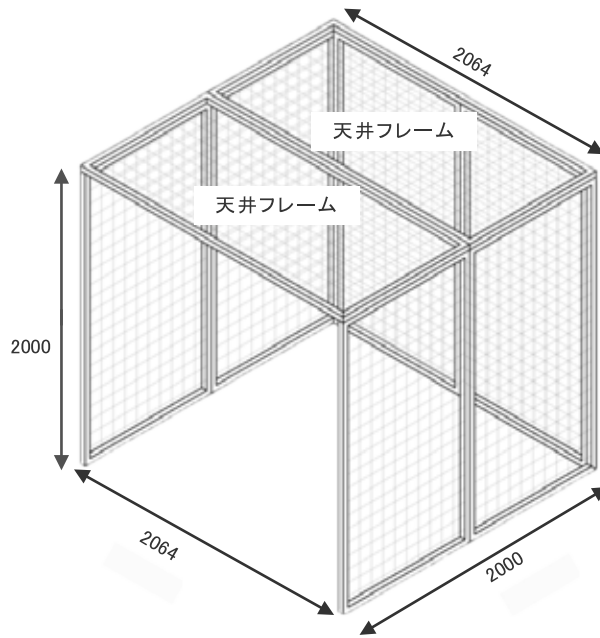
ボーリング？

空飛ぶ？

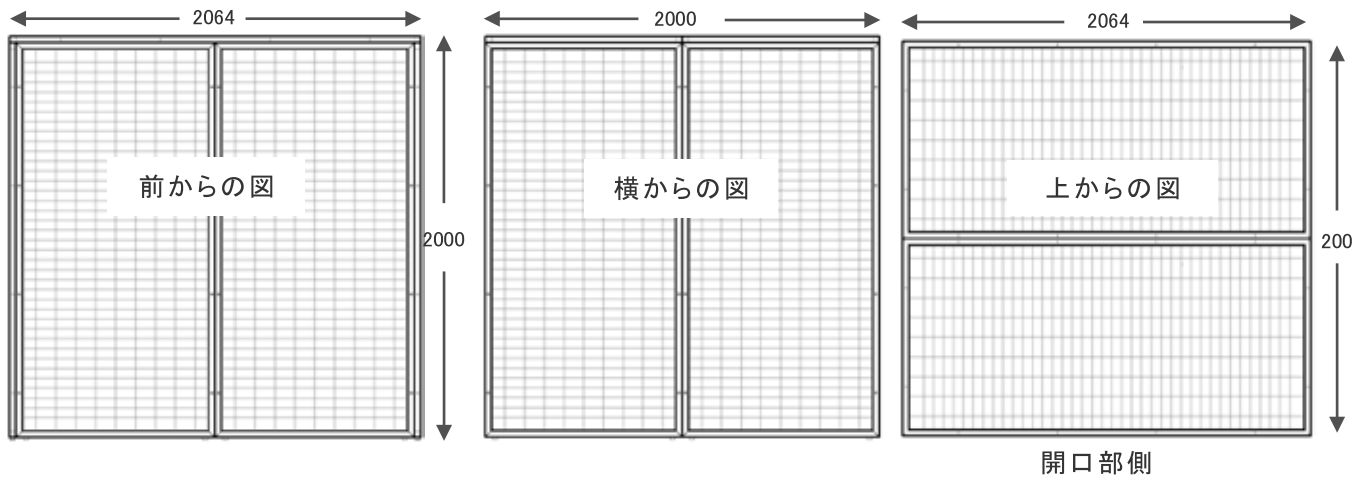
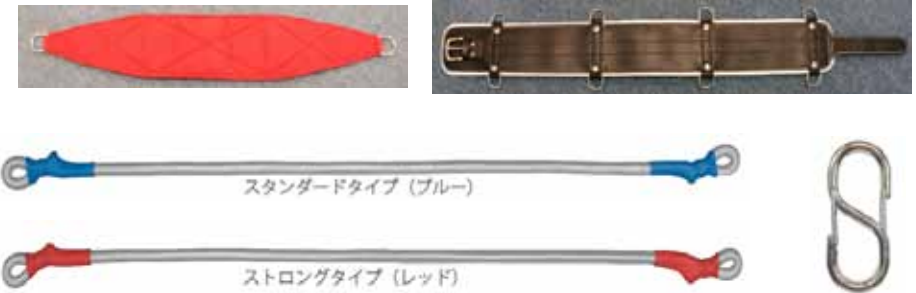
ビーチボールキック？

ボールプール？

天井フレーム2枚
壁フレーム6枚
合計8枚の組み合わせ



ご使用にあたっては、各種パーツが必要です。
用途、サイズなど、詳しくはお問い合わせください。



メッシュ部のスポット溶接強度は 300Kg 以上

スポット溶接箇所の引張り強度試験

工場名	品質保証	期日
25.11.19	25.11.19	25.11.19

試験項目	溶接強度試験	実施日	平成25年4月4日
試験商品	スライダーフレーム天板ネット	材質	SPW18M-0802
	スライダーフレーム側面ネット	溶接方法	スポット溶接(クロスワイヤー)

【試験方法】
3月14日製造分のネットから無作為に溶接箇所4点を選り、試験体形状に切断後、引張り試験機を用いて3000(N)以上で引張り、溶接外れが無いか検査しました。

試験体写真

スポット溶接箇所

試験実施写真

3000(N)以上で引張り試験中、
3000kgf=2940(N)

【試験結果】

試験体番号	引張り荷重(N)	溶接外れ	合・否
No1	3148	無し	合格
No2	3100	無し	合格
No3	3041	無し	合格
No4	3027	無し	合格
No5	3068	無し	合格
No6	3071	無し	合格

株式会社アシスト

<http://www.assist-info.jp/>

大阪本社

〒586-0071 大阪府河内長野市加賀田2649番地
TEL: 0721-60-2833 FAX: 0721-60-2834

東京営業所

(ユニバーサルフレーム営業窓口)

〒143-0013 東京都大田区大森南4丁目6番15号
テクノFRONT森ヶ崎404

TEL: 03-5735-1555 FAX: 03-5735-1556